



令和6年度卒業証書授与式を挙

穏やかに晴れた3月14日、令和6年度卒業証書授与式を挙りました。吹奏楽部の「威風堂々」の演奏の中、卒業生は緊張の面持ちで入場しました。松本校長から卒業証書を授与されている姿に、3年間の成長を感じました。校長式辞では、「桜梅桃李」の言葉を用いて、「どちらがいいかではなく、それぞれの良さがあることを大切にして欲しい」と伝えていただきました。送辞では、先輩との思い出や卒業してしまう寂しさ、在校生としての決意が述べられました。答辞では、3年間の成長した様子、支えてくれた方々への感謝、合唱曲の歌詞を用いて未来に向けて決意が述べられました。また、在校生合唱では「友～旅立ちの時～」を、卒業生合唱では「僕らはいきものだから」を感動的に歌い上げました。厳かな中にも、気持ちがこもった卒業式となりました。高校進学後も学習に励むとともに、自分の可能性を信じて様々な方面で活躍することを願っています。



中2 人権学習 ～聴覚障害者理解～

2年生は和歌山県聴覚障害者協会から会長の福田氏、手話通訳士の酒匂氏を招いて聴覚障害について理解を深めました。聴覚障害者の方の生活を知ったり、基礎的な手話を学習しコミュニケーションの取り方などを学んだりしました。手話を知らなくても、ジェスチャー等「伝えたい」という気持ちが大切であることを学び、心のあたたまる時間となりました。

